

幼稚園教師のために

ムリエル・クロスビー

デラウェア、ウィルミントン小学校

幼稚園の教師は、幼稚園が小学校の教育計画の中で果たす役割の重要性について確信をもつ必要がある。

幼稚園の教師は、

・ 幼児のほんとうの要求に気づく必要がある。
・ 五歳児にとって意味のある経験を与え、技術をもちたねばならない。

・ 幼稚園の日日の教育を適切にすることに熱心でなければならぬ。そして、いわゆる六歳児の教育目的を五歳児に押しつけるようなことをしてはならない。

・ 六歳になればみんなが直面しなければならぬ教材の枠の中に、五歳児をいれようとする現代の社会の圧力に対して、まじめな抵抗をすることができるものでなければならぬ。

幼稚園は「よみかきのための幼稚園」であってはならない。幼稚園のときに、よみかきの手引きを受けた子どもたちの方が、一、二年生の適当な時期によみかきをはじめた子どもたちよりも、三年生または六年生のときに、よみかきがすぐれていることを示すような研究資料はないのである。むしろそれとは逆の資料の方が多い。

一年生のときによむことを要求された子どもたちも、二年生になるまで形式的なよみかき教育をはじめなかった子どもたちも、三年生の終りに同等のよみかき能力であることを示す研究もある。

ライトストーンは、このことを一九三〇年代のはじめに見出し、オルセンの最近の研究はこのことを支持している。

(子供の教育、一九六〇年十月号より)

幼児の教育 第六十六巻 第八号

八月号 © 定価八〇円

昭和四十二年七月二十五日 印刷
昭和四十二年八月 一日 発行

東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行者

東京都文京区大塚二ノ一ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村一ノ一一

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館
振替口座東京一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所
フレーベル館にお願いいたします